

令和5年度 学校自己評価システムシート (県立熊谷高等学校 定時制)

目指す学校像	社会で「はたらく」生徒を育てる学校
--------	-------------------

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

重点目標	1 社会で生きる力を身に付ける指導の実践 2 熊定愛を高める指導の実施 3 保護者や関係機関と連携した教育活動の実践 4 安心・安全な熊定づくりの推進
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	
学校関係者	4名
生徒	3名
事務局(教職員)	9名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						学校関係者評価		
年 度 目 標				年 度 評 価 (1 月 2 5 日 現 在)		実 施 日 令 和 6 年 1 月 2 6 日		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	
1	【現状】 生徒一人一人の学習到達度を把握した指導計画の作成に取り組んでいる。 【課題】 「学びの基礎診断」を積極的に活用した学びのサイクル構築及びICTの機器利用やアクティブ・ラーニングの手法を活用した授業の実践	○生徒の学習意欲の向上及び基礎学力の定着	①学びの基礎診断のまとめテストの実施(学期2回) ②教員相互の授業見学の実施 ③進路面談の実施(年2回)及び進路資料室の整備・有効活用 ④欠点保有者数の減少	①「学びの基礎診断」における学習達成率(年間の平均点70点以上生徒の割合)の増加 ②評価アンケート(授業満足度)の肯定的な評価割合の増加(前年度比+5%) ③進路達成率の向上 ④学期ごとの欠点解消補習の実施	① 学習達成率は下記のとおり改善している。 国語 数学 英語 令和4年度 85.7% 42.9% 42.9% 令和5年度 100% 45.5% 63.6% ②生徒対象の授業に関するアンケートの各質問に対し「そう思う、まあそう思う」と回答した生徒の割合は以下のとおりである。 ・授業の内容や先生の話に興味関心が持てる。 79.4%(87.1%) ・授業の内容や先生の話を理解できている。 82.4%(87.1%) ・授業内容を理解できるように努力している。 79.4%(93.5%) ・自ら進んで学習課題に取り組んでいる。 61.8%(67.7%) ③就職の内定に向けて精力的に取り組んでいる。 ④学期ごとの欠点解消補習の結果、追調査対象者が減少した。 1学期5人(6人)、2学期2人(7人)	A	【成果等】 ・学期ごとに欠点解消補習を実施した結果、欠点保有者が減少した。来年度も、この状況を維持していきたい。 【課題】 ・生徒アンケートにおける「生徒の授業満足度」が、昨年度と比べて大きく減少した。 【改善策等】 ・生徒の興味関心を高める更なる授業づくり ・学びの基礎診断を活用した個別指導の充実 ・観点別評価の丁寧なフィードバック ・学習サポーターの更なる活用 ・ICT機器の有効活用等による授業改善 ・欠点解消補習の効果的な実施 ・終業式での成績優良者の表彰	【意見・要望】 ・進級・卒業に向けた欠点解消補習等を行うなど、生徒一人一人に対して、丁寧な指導を行っている。 ・卒業後の進路実現に向けて、更なる指導の工夫をして欲しい。 【評価】 ・熊高定時制は、基礎学力の定着の場となっていると思う。
2	【現状】 外部機関(S・C、巡回支援員)と連携するなど、きめ細かい指導に取り組んでいる。 【課題】 充実した学校生活の実現(学校行事、部活動の工夫、充実)	○学校行事や部活動を活性化(外部機関との連携)	①外部機関(S・C、巡回支援員)と連携した生徒理解 ②総合的な探究の時間、生徒会活動、学校行事、部活動の活性化 ③面談指導の充実	①転退学者の減少及び遅刻者の減少 ②学校行事への出席率の増加及び部活動加入率の増加 ③生徒一人一人の実態に応じた面談の実施(必要に応じて家庭訪問)	①転退学者2名(5名) 平均遅刻数23.9回(20.2回) ②学校行事出席率:76.3%(81.4%) 部活動加入率:62.5%(62.0%) ③1学期に三者面談、2学期に二者面談を実施するとともに、S・C及び巡回支援員との面談を随時実施した。	B	【成果等】 ・転退学者が減少した。 ・新規の学校行事を設定し、様々なテーマを関連付けながら教育活動を行った。 【課題】 ・アルバイト等による遅刻回数が増加した。 ・学校行事の出席率が低下した。 【改善策等】 ・S・Cと連携した生徒支援の継続 ・学校生活を中心とした生活習慣の確立 ・メリハリある行事計画の作成 ・終業式での皆勤者の表彰	【意見・要望】 ・年間を通して、バランスある学校行事等の企画・立案を心がけて欲しい。 【評価】 ・特になし。
3	【現状】 学校案内を作成作成・配付したり、学校説明会を実施するなど、本校の魅力や定時制の特色を発信している。 【課題】 保護者や生徒との連絡を確実にするためのメール配信システムの登録者の割合向上	○効果的な広報活動の実施(定時制の特色のアピール) ○メール配信システム加入率の向上	①ホームページの充実 ②学校説明会の参加者の増加 ③学校行事、公開授業等、広報活動の充実(保護者等の参加者の増加) ①保護者へのメール配信システム加入の周知・徹底	①ホームページの更新回数の増加 ②学校説明会の参加者数及び学検志願者数の増加 ③学校行事、公開授業、給食試食会等への保護者の参加率の増加 ①メール配信システムの加入率の向上(昨年度比+20%)	①給食ブログや行事報告等の更新回数の向上 ②R5入学説明会希望者13組(5組) ③彩の国教育週間の参加率13.2%(5.3%) ①くまてい安心メール保護者登録率76.3%(40.0%)	A	【成果等】 ・学校行事時の保護者の来校者数、来年度入学希望の来校者数が増加した。 ・メール配信システムの登録者数が増加した。 【課題】 ・いずれも良い結果が見られた。来年度も一層の向上を目指したい。 【改善策等】 ・本校の果たす役割(社会ではたらく生徒の育成)の積極的な発信 ・保護者等の来校機会を増やす学校行事の設定 ・くまてい安心メールの更なる登録支援	【意見・要望】 ・定時制のHPに部活動の時間を掲載するなど、部活動をどの時間帯で行っているかわかるようにして欲しい。 【評価】 ・「今日の献立」のHPの毎日掲載は素晴らしい。
4	【現状】 施設・設備の安全維持に努めるとともに、自校給食実施校として衛生面での安全・安心の確保に努めている。 【課題】 登下校時の事故防止(自転車運転マナーの向上、交通安全指導の充実)及び給食喫食率の向上	○給食喫食率の向上	①巡回による日常的な設備点検の実施 ②給食点検、検食の確実な実施 ③自転車、自動二輪車、自動車利用者へのルールの徹底 ①給食室の席の自由化、リクエスト給食・セレクト給食の実施 ②栄養技師による給食指導の実施	①HR教室や使用教室の安全点検の実施及び速やかな修繕 ②安全に配慮した給食の提供 ③登下校時の交通事故件数の減少 ①、②給食を食べる生徒数の増加	①日常的な施設・設備点検、各学期の安全点検を実施した。また、生徒による清掃活動を開始した。 ②今年度も、給食関係の事故0件を達成した。 ③今年度も、交通事故0件を達成した。 ①、②喫食率が、約79%(約65%)と大きく増加した。 ①、②栄養技師と連携した教科(科目保健)指導を実施した。	A	【成果等】 ・日常的、定期的な点検により、安心して学べる環境整備を行った。 ・喫食率が大きく向上した。 【課題】 ・更なる自転車運転マナーの向上、自転車ヘルメット着用推進 ・給食を食べない生徒への喫食指導の徹底 【改善策等】 ・食生活指導、給食キャンペーン等の実施 ・自転車ヘルメット着用指導の継続実施	【意見・要望】 ・給食の更なる喫食率の向上に向け頑張ってもらいたい。 【評価】 ・特になし。